



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 平河ヒューテック株式会社

コード番号 5821 URL <http://www.hewtech.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 目黒裕次

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 篠 祐一

TEL 03-5493-1711

四半期報告書提出予定日 平成27年11月4日

配当支払開始予定日

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,954	18.5	1,069	114.0	1,074	77.9	714	89.7
27年3月期第2四半期	11,779	6.5	499	72.7	603	111.7	376	27.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 558百万円 (△42.5%) 27年3月期第2四半期 971百万円 (43.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	101.76	—
27年3月期第2四半期	53.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	29,301	19,768	67.5	2,814.46
27年3月期	29,242	19,294	66.0	2,746.94

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 19,768百万円 27年3月期 19,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
28年3月期	—	11.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	13.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	4.9	1,430	19.3	1,460	3.7	960	2.0	136.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	8,813,900 株	27年3月期	8,813,900 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,790,039 株	27年3月期	1,789,972 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	7,023,887 株	27年3月期2Q	7,024,010 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復から設備投資が増加基調にあり、個人消費も雇用・所得環境の着実な改善を背景に底堅く推移したことから、緩やかながらも回復基調を維持しました。しかしながら、輸出・生産の増勢に鈍化がみられるなど、弱い動きが見られました。

海外経済は、アジア経済については中国を中心にアジア全体で景気が減速しました。一方、米国では個人消費を中心に拡大基調で推移し、欧州では全体的に緩やかに回復いたしました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、センシング、M2M市場やエネルギー産業関連市場の需要が引き続き拡大基調で推移しました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は139億54百万円(前年同期比18.5%増)となりました。売上高の増加及び生産性の改善等により営業利益は10億69百万円(同114.0%増)、経常利益は10億74百万円(同77.9%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は7億14百万円(同89.7%増)となりました。

主なセグメント別の業績は、次のとおりです。

(電線・加工品)

エネルギー産業関連ケーブル、デジタル機器用ケーブル、半導体製造装置関連ケーブル及び車載用ケーブルの売上が好調に推移したことにより、売上高は117億60百万円(前年同期比20.8%増)となりました。新分野での売上高の増加及び生産性の改善等により、セグメント利益は10億61百万円(同87.0%増)となりました。

(電子・医療部品)

エネルギー産業関連デバイス及びネットワーク機器の売上は好調に推移しましたが、医療用特殊チューブの売上は微減となり、売上高は21億18百万円(前年同期比7.7%増)となりました。新分野での売上高の増加及び生産性の改善等により、セグメント利益は2億32百万円(同47.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ58百万円増加し、293億1百万円となりました。主な増加は、「受取手形及び売掛金」が2億64百万円増加し、主な減少は、「投資その他の資産」の投資有価証券が1億5百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4億15百万円減少し、95億32百万円となりました。主な減少は、「長期借入金」が3億93百万円及び「短期借入金」が3億1百万円減少し、主な増加は、「未払法人税等」が1億39百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4億73百万円増加し、197億68百万円となりました。主な増加は、「利益剰余金」6億30百万円の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月7日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,907	3,935
受取手形及び売掛金	7,477	7,741
有価証券	261	252
商品及び製品	1,871	1,937
仕掛品	788	740
原材料及び貯蔵品	2,135	2,114
繰延税金資産	114	198
その他	525	508
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	17,080	17,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,399	3,476
機械装置及び運搬具(純額)	2,914	2,808
土地	2,591	2,558
その他(純額)	610	454
有形固定資産合計	9,517	9,297
無形固定資産	170	171
投資その他の資産	2,473	2,405
固定資産合計	12,161	11,874
資産合計	29,242	29,301

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,761	2,879
短期借入金	1,977	1,675
未払法人税等	183	323
賞与引当金	53	152
その他	988	887
流動負債合計	5,964	5,919
固定負債		
長期借入金	1,965	1,572
退職給付に係る負債	1,785	1,806
役員退職慰労引当金	37	37
その他	195	196
固定負債合計	3,983	3,613
負債合計	9,948	9,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,459	1,459
利益剰余金	16,375	17,005
自己株式	△2,339	△2,339
株主資本合計	17,049	17,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	329	273
繰延ヘッジ損益	9	4
為替換算調整勘定	1,946	1,839
退職給付に係る調整累計額	△40	△29
その他の包括利益累計額合計	2,244	2,088
純資産合計	19,294	19,768
負債純資産合計	29,242	29,301

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
売上高	11,779	13,954
売上原価	9,519	11,075
売上総利益	2,259	2,879
販売費及び一般管理費	1,760	1,809
営業利益	499	1,069
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	7	9
為替差益	66	—
その他	37	20
営業外収益合計	122	47
営業外費用		
支払利息	9	8
為替差損	—	26
その他	8	8
営業外費用合計	18	42
経常利益	603	1,074
特別利益		
固定資産売却益	—	98
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	99
特別損失		
投資有価証券評価損	—	26
災害による損失	—	50
事業構造改善費用	34	72
その他	0	—
特別損失合計	35	149
税金等調整前四半期純利益	568	1,023
法人税、住民税及び事業税	238	402
法人税等調整額	△42	△93
法人税等合計	195	308
四半期純利益	372	714
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△3	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	376	714

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
四半期純利益	372	714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	△55
繰延ヘッジ損益	23	△4
為替換算調整勘定	493	△107
退職給付に係る調整額	12	10
その他の包括利益合計	598	△156
四半期包括利益	971	558
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	975	558
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,738	1,967	11,705	73	11,779	-	11,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	0	3	-	3	△3	-
計	9,741	1,967	11,709	73	11,782	△3	11,779
セグメント利益	567	157	724	54	779	△279	499

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2億79百万円には、セグメント間取引消去△3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2億76百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,760	2,118	13,879	75	13,954	-	13,954
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	3	24	-	24	△24	-
計	11,781	2,122	13,904	75	13,979	△24	13,954
セグメント利益	1,061	232	1,293	49	1,342	△273	1,069

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2億73百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2億73百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。